

12/3(水)~9(火)は 「障がい者週間」です

障がい者に対する虐待を防止しましょう。 障がい者の尊厳を守るため、養護者などに よる次の行為は禁止されています。



●身体的虐待 ●心理的虐待 ●放棄·放置 ●経済的虐待 ●性的虐待 【相談窓口】北区役所福祉課 206-6313-9857 2006-6313-9905 北区障がい者基幹相談支援センター

© 06-6450-8856

© 06-6374-7889 ※通報や届け出をした人の情報は守られます

北区役所では、北区地域自立支援協議会の活動として、区内の福祉事業所に 通う障がいや疾患をお持ちの方が作られた作品の展示や自主製品の販売を定期 的に行っています。

間福祉課 206-6313-9857 2006-6313-9905

堂島地域の景観を守るために

堂島地域では、快適で安全・安心なまちづくりのため、連合振興町会、地域活動 協議会、商店会や北新地社交料飲協会などの地元地域団体・企業、そして警察署 や建設局、環境局、区役所など行政と合同で、年に数回「堂島ゆめまち活動」を実 施しています。10月3日の活動には、レッドハリケーンズ大阪の選手も加わり、30 名を超える参加者で地域内の清掃活動及び放置自転車への放置禁止啓発を行



いました。次回は令和8年3月に実施予定 です。これから街中の人出が増える時期に なりますが、地元関係者が一丸となって、堂 島地域の魅力あるまちの景観を、継続して 守っていきます。

🛅 地域課

106-6313-9549 **1**06-6362-3823

年末年始のごみ収集日程



12/25(木)~1/10(土)の間は、収集時間帯が普段と異なる場合がありますので、 「収集日の朝8時30分まで」にごみを出していただきますようお願いします。

◆普通ごみ

普段の収集曜日(地域)	年末最終の収集日	年始最初の収集日	
月・木曜日の地域	29日(月)	5日(月)	
火・金曜日の地域	30日(火)	6日(火)	
水・土曜日の地域	31日(水)	7日(水)	

◆資源ごみ/プラスチック資源/古紙・衣類

普段の収集曜日(地域)	年末最終の収集日	年始最初の収集日
月曜日の地域	29日(月)	5日(月)
火曜日の地域	30日(火)	6日(火)
水曜日の地域	31日(水)	7日(水)
木曜日の地域	25日(木)	8日(木)
金曜日の地域	26日(金)	9日(金)
土曜日の地域	27日(土)	10日(土)

※普通ごみ、資源ごみ、プラスチック資源、古紙・衣類の収集日が同じ になる場合は、離してお出しください

◆粗大ごみ

12/28(日)~1/4(日) の間は、電話受付を休 ませていただきます

申 問 粗大ごみ 受付センター

10120-79-0053 (通話無料) 携帯電話・スマートフ

ォンからは **6**06-6530-1530 (通話有料)

間 東北環境事業センタ・

HPはこちら▲

106-6323-3511 **EX** 06-6370-3951

「北区はたちのつどい」を開催します!

- 1/11(日) ※お住まいの地域(中学校区)により、2回に分けて実施します
- ●天満・北稜・中之島中学校区…13:00~13:45(受付12:15~)
- ◆大淀・豊崎・新豊崎中学校区…15:00~15:45(受付14:15~)

場 北区民センター(北区役所隣)

【対象】 平成17年4月2日~平成18年4月1日生まれの方

【内容】式典、抽選会(手話通訳あり)※入場は対象者の方のみ

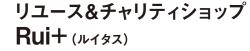
※自転車でのご来場は固くお断りします ※最新の情報は北区ホームページをご確認ください

閸 地域課 🖀 06-6313-9509 🖾 06-6362-3823

SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS



地球規模の環境問題や社会課題の解決も、まずは一人ひとりの小さな 実践の積み重ねから。毎月、区内の様々な活動をお伝えします。







不用となったモノも 誰かの役に立つ

無償で譲ってもらった寄付品を求めやすい価格で 販売し、そこから必要経費を差し引いた収益を、地域 福祉など各種団体への支援金として寄付する活動を 行っています。代表の青野窓香さんはチャリティショッ プで4年間働いた後、2023年6月にクラウドファン

つくる責任 12 つかう責任 持続可能な消費生産

形態を確保する

《SDGsチャレンジ》 モノを捨てずに循環さ せよう

ディングを活用し、Rui+(天神橋4)をオープンしました。「必要経費には私の人件 費は含まれていなくて、生活費は別の仕事で賄っています。1.000円しか寄付でき ない月もありますが、私一人でショップを切り盛りすることで何とか運営しています」

取り扱う品物は衣料品・靴・かばん・アクセサリー・食器・本や絵本・雑貨など。 寄付品を受け取る時も支援金を寄付する時も「ありがとう」と言ってもらえるなど、 誰かの役に立っていると実感できることが活動を支える原動力です。不用になった モノが、新しい価値を持って必要とする人の元へ届く瞬間に立ち会えるのが一番う



店舗で寄付品の持込み、購入もできる

れしいと話します。「自分の子どもが赤ちゃんの 時に着ていた洋服を違う子どもが着てくれた 時は、この服がまた、別の子どもと新しい思い 出をつくっていくんだなと思い、感動して涙が出 そうになりました。モノの命が続いていく喜びを、 多くの人に共有してもらいたいですね」

目標は店舗数を増やして、誰もが参加できる 小さな社会貢献活動・チャリティショップの存 在を多くの人に知ってもらうこと。そのために フリーマーケットに出店するなど、Rui+を知っ てもらう機会をもっと増やしたいと 考えています。

Rui+のInstagram ▶ 🗖 🚮



